国民民主
KOKUMIN MINSHU PRESS
こくみんみんしゅ Press号外
2026年10月号

堂込まきこ　茨城事務所
〒310-0022
茨城県水戸市梅香2-1-39　茨城県労働福祉会館3階
TEL：029-306-6444 / FAX：029-231-2617
HP：https://dougomi.jp

浅野さとし　日立事務所
〒317-0071
茨城県日立市鹿島町1-11-13
TEL：0294-21-5522 / FAX：0294-21-3014
HP：https://asanosatoshi.com/

発行：国民民主党 国民民主PRESS編集部　〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17 JBS永田町 / TEL：03-3593-6229 / HP：new-kokumin.jp / 通常号 定価1部200円（税込み）・年間購読料1,000円（送料含む） 隔月第4金曜日（偶数月）発行

連合茨城×国会議員 **座談会** ―茨城で働く仲間の未来を語る―



働く人が輝く茨城へ

BIG3が語り合う、地域の課題と未来への展望

2026年8月27日連合茨城・労働福祉会館にて、連合茨城 久保田利克会長、茨城県第5区 浅野さとし衆議院議員、茨城県選出 堂込まきこ参議院議員の3名で、齋藤英彰 茨城県議会議員進行のもと、働く仲間の茨城県代表“BIG3”の対談を実施しました。

●連合茨城とは

1989年に結成された日本のナショナルセンター（全国中央組織）である「連合」の地方連合会として、茨城県で働く人たちのよりどころとなり、地域政策の実現や労働相談、組合結成の支援などを行っています。

●茨城の経済と雇用 その課題は

齋藤議員　現在の茨城県の経済や雇用をどのように見ていますか。

久保田会長　茨城県は全国有数の工業県、農業県であり、連合茨城としてもこうした経済や雇用面での強みを生かしながら取り組んでいるところです。一方で人材の確保や成長産業の育成、地域活性化、交通インフラ整備などの課題があり、これらは政治や労組、企業が取り組むべき好材料だととらえています。

齋藤議員　賃上げが進む一方で、中小企業では人手不足や価格転嫁などの課題もあります。持続的な賃上げを実現するためには何が必要でしょうか。

浅野議員　逆説的ですが、賃上げを続けるために必要なのはさらなる賃上げです。その原資となる売上を伸ばすためには、買う側に「お金を使っても将来は大丈夫」という安心感を持ってもらわねばなりません。それを公的に支援することで消費は活性化します。安心を設計するには、社会保障と税の一体改革や教育費の負担軽減、災害時の生活支援などの基盤を根本から変えていく必要があると考えています。

齋藤議員　物価高が続く中、働く人や子育て世代を支えるために、今最も必要な政策について伺います。

堂込議員　国民民主党が掲げている「手取りを増やす」を実現するには、現役世代が不安に思っている社会保険料や年金制度などを改革し、可処分所得を増やす必要があります。そのためには持続的な賃上げと社会保障がセットとして必要で、子育て世代の負担が大きい住宅や教育費、食費を支援するような施策が求められています。

齋藤議員　若者が茨城で働き、住み続けたいと思える地域にするために、行政・企業・労働組合はどのような役割を果たすべきでしょうか。

久保田会長　若い人が茨城に住んで働きたいと思ってもらえるような環境整備をしなければなりません。ただ働く場だけ増やすのではなく、暮らしや将来性、子育て支援など地域との関係性が大事です。行政の役割としては、雇用の創出や生活基盤の整備、県の魅力発信など若者が将来に希望を持てるような環境を整えること。企業は賃金の向上や福利厚生の充実、働き方改革や人材育成、地域貢献、従業員に向けた企業の魅力の発信を、労組は働く人の声を聞いて企業や行政に伝えるという役割と責任を果たすことが重要だと考えています。

浅野議員　私たち議員は労働組合と連携しながら現場の声を集め、足りない部分を次の変化につなげるという役割があります。議員同士、横の連携も必要と考えます。



● 連合と国民民主党 どう連携するか



齋藤議員　国民民主党は「給料が上がる経済」を掲げています。その実現に向けて、優先して取り組む政策について伺います。

堂込議員　国民民主党は、働く人を支える政策と経済政策に力を入れています。物価高が続き暮らしの先行きが見通せない現在、私たちは引き続きこの2大政策に取り組み、賃上げできる企業を増やしていくことが重要だと思っています。

齋藤議員　他党との違いはどこにあるのでしょうか。

浅野議員　国民民主党は「対決より解決」の姿勢で、年収の壁を動かし、ガソリン暫定税率の廃止、児童手当の所得制限撤廃などを実現してきました。このように働く人を支える政策に焦点を絞って注力することが党のアイデンティティとなっています。

堂込議員　そのアイデンティティを地域の活性化に繋げ、誰もが安心して輝ける社会を実現できるのが国民民主党です。

齋藤議員　連合と国民民主党は「働く人を大切にする」という共通の理念があります。今後どのような連携が必要だと考えていますか。

浅野議員　これまでも連合とは連携してきたという自負はあります。ただ今後を考えると、業種や職種によって働く人の悩みは細分化しているので、私たちがもっと現場に入っていかねばなりません。そして取り組むべき課題を的確にとらえ、優先課題を共有するためにも、連合とさらなる連携が必要になるでしょう。トップ同士のみならず現場での連携、いわばホットラインからネットワークへの高度化が求められています。

齋藤議員　現場から国民民主党に期待することについて伺います。

久保田会長　連携をより進めるためにはこれまでの延長線ではなく、新たな形を生み出す努力をしなければなりません。政治には物価高や少子高齢化、自然災害の多発や国際情勢の変化など目の前の課題に対して長期的視点で方向性を示し、国民生活を支える責任があります。国民が安心して暮らし、一人ひとりがそれぞれの環境下で能力を発揮して、将来に希望を持てる社会をつくってほしいと思います。



●茨城選出の議員として

齋藤議員　茨城県の課題を踏まえ、国民民主党として特に力を入れたい政策について伺います。

浅野議員　県北地域代表としてお答えしますと、県北地域は企業城下町として人が集まってきたという歴史があることから、県北の産業をいかに活性化させるかが課題です。そこで人や未来への投資がしやすい環境作りを進めるとともに、東京にある本社機能を創業地に移すことも検討すべきだと思っています。いまや東京に本社を置く必然性はない時代。創業地に移せば、税収は全国に分散するし、各地域で創業を後押しできる。雇用や所得の効果も生むでしょう。

堂込議員　浅野議員と同感です。茨城は北と南で人口をはじめ大きな格差ができています。南部は人口流入地域であるのに対して、北部は人口が減少し、鹿行地域は基盤産業が停滞しており、まさに日本の縮図です。この課題を県全体で共有し、地域で働き、住み続けられる環境をいかに作るか、真剣に考えなければなりません。

●10年後、茨城がめざす姿

齋藤議員　今後10年間の茨城を見据えると、どのような産業や地域づくりをめざすべきでしょうか。

久保田会長　先端技術と豊かな自然が共存し、多様な人材が挑戦し続けることのできる活力ある県をめざしたい。茨城で働く私たちも、当事者意識を持ってめざす姿に向かっていく役割が求められています。

浅野議員　近い将来には、AIの進展により一人ひとりが自分に合った居住地を選べる時代になっているでしょう。10年後の茨城を考えたとき、県南北の違いを個性の違いと捉え、県北の個性を磨いていかなければ生き残れません。その良さを最大化すべく、地域に密着して魅力を高める役割を果たしたいと思っています。そして、地域の窓口として一番話しやすい存在でありたいと思っています。

堂込議員　私の役割は県全体を見て働く皆さんの声を国政に届け、成果を構築してフィードバックすることです。各級議員と連携し、このサイクルを回していきたいと考えています。



●茨城の皆さんに伝えたい！



久保田会長
議員の皆さんと連携しながら、働くすべての人の声を社会に届け、未来を担う子どもたちのためにも一人ひとりが希望を持って安心して働き暮らせる茨城をめざします。ともに茨城の未来を作って行きましょう。



堂込議員
社会環境が急激に変化する時代、県民の皆さんの不安を解消できるよう取り組んでいきます。地域が抱える問題があれば、気軽に声をかけてください。



浅野議員
希望ある社会を作るには、その責任世代である私たちが希望を持っていないといけません。茨城の個性を魅力に感じてもらえる時代は確実に来ています。それを希望として茨城をさらに魅力ある地域にしていきましょう！皆さんの思いを政治の場に届けられるよう頑張ります！

令和8年12月施行予定

茨城県議会議員選挙

立候補予定者4名の紹介をします





夢のある活気あふれる街づくり

さいとう 英彰（ひであき）

茨城県議会議員



県北から茨城の未来をつくる

高安 ひろあき（たかやす）

茨城県議会議員



ひとがあつまる未来あるまちづくりを

おおあし 光司（こうじ）

茨城県議会議員



魅力ある「ひたちなか」から、魅力ある「茨城」へ。

北原（きたはら） ゆうじ

ひたちなか市議会議員

SNS



参議院議員 堂込 まきこ

公式HP　X　LINE



衆議院議員 浅野 さとし

公式HP　X　LINE　Youtube